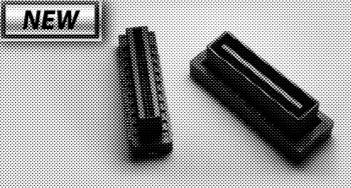


THE NEW VALUE FRONTIER



京セラの高信頼性コネクタ

NEW

アルミ電線対応コネクタ
新登場アフターパーツ用分岐コネクタ
9215 Series

NEW

NEW

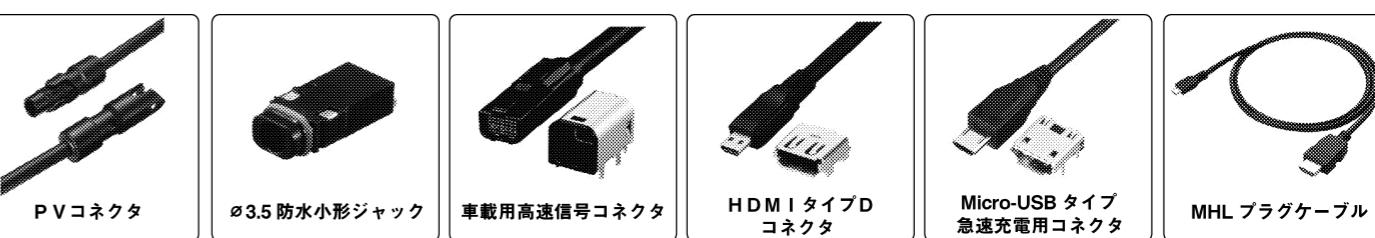
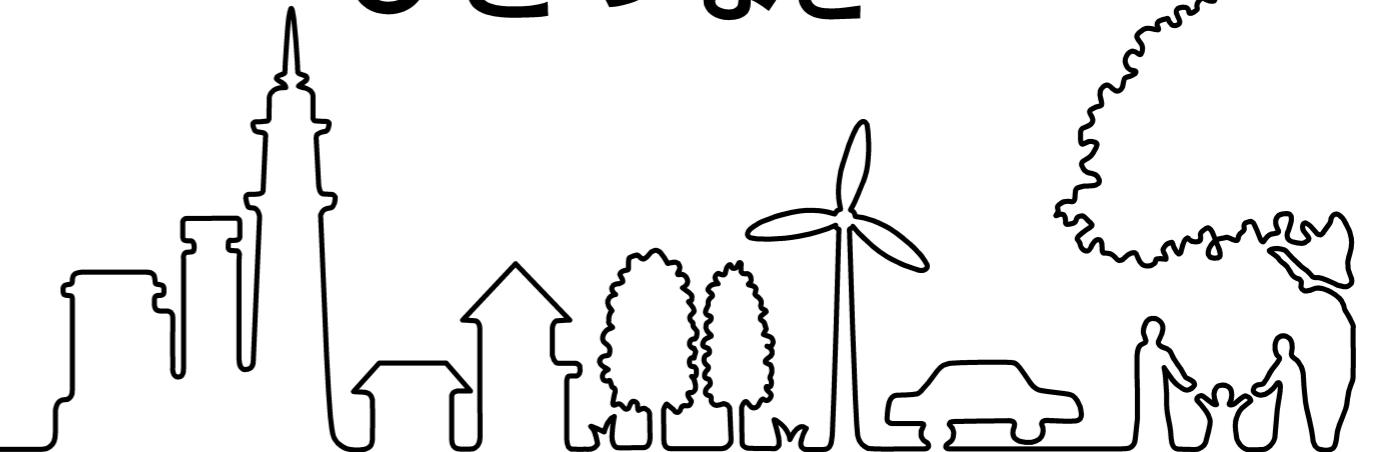
V-by-One®

CalDriCon®

高耐熱対応
プローティング機構付
0.635mmピッチ 基板対基板コネクタ
5690 Series高速伝送対応
0.5mmピッチ
FPC/FFCコネクタ
6806 Series高耐熱対応
0.5mmピッチ
FPC/FFCコネクタ
6288 SeriesV-by-One®とCalDriCon®は、
サンエクレクトロニクス株式会社の登録商標です京セラコネクタプロダクツ株式会社 www.kyocera-connector.com/jp本社/226-8512 横浜市緑区中山町402-1 ■国内営業部 Tel.045-611-1010 ■海外営業部 Tel.045-611-1017
■大阪営業所/Tel.06-6315-0513代表 ■名古屋営業所/Tel.052-232-6441代表 ■大宮営業所/Tel.048-648-1601代表
■立川営業所/Tel.042-528-6341代表 ■松本営業所/Tel.0263-33-1361代表

HOSIDEN

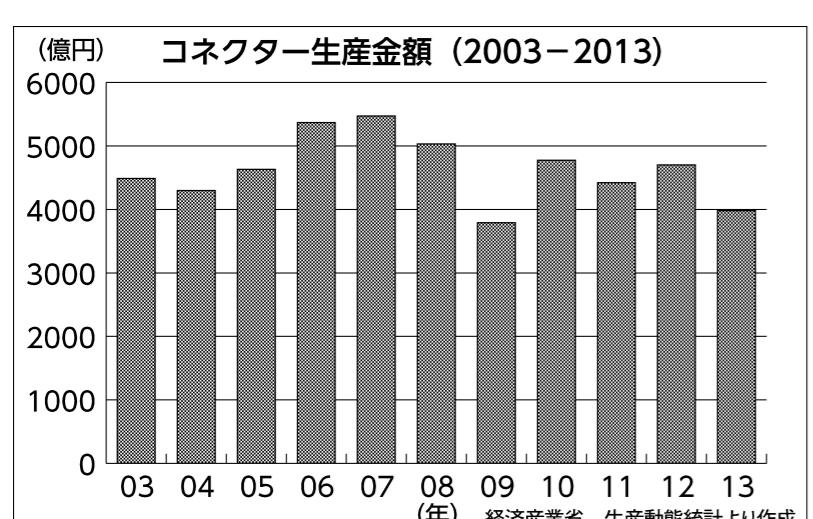
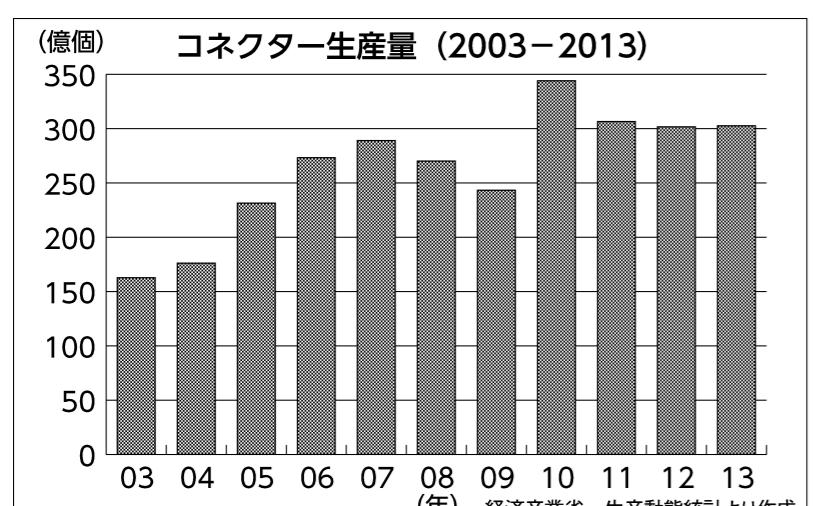
Dynamic Evolution

新しい世界を
ひとつつなぎ

ホシデン株式会社

本社 〒581-0071 大阪府八尾市北久宝寺1-4-33 TEL. 072-993-1010
東京支社 〒221-0014 横浜市神奈川区入江1-14-25 TEL. 045-423-2231<http://www.hosiden.co.jp>

つなぐ・つたえる コネクター



2014年3月に発表された生産動態統計によれば、1月のコネクター全体会社の生産個数の実績は前年同月に比べて、1月のコネクターに分類している。

2014年3月に発表された生産動態統計によれば、1月のコネクター全体会社の生産個数の実績は前年同月に比べて、1月のコネクターに分類している。

2014年3月に発表された生産動態統計によれば、1月のコネクター全体会社の生産個数の実績は前年同月に比べて、1月のコネクターに分類している。

2014年3月に発表された生産動態統計によれば、1月のコネクター全体会社の生産個数の実績は前年同月に比べて、1月のコネクターに分類している。

今年度コネクター市場 モバイル・車載用期待

13年生産量は前年比
302億6376万個

コネクターは接続されるケーブルの種類、基板の太さや本数、大きさ、形状さらには使用環境や使用目的に多くの種類が存在する。接続の組み合わせでは、電線と電線、電線と回路基板、電線と電気部品、回路基板と回路基板の四つに大きく分けることができる。

また、経済産業省の動態統計ではコネクターを通信用同軸ケーブルなどの接続に利用する「同軸コネクター」、機器の基板と基板、基板と電線などの接続に利用する「プリント基板用コネクター」、光ファイバーケーブル、光ファイバーケーブルを利用した高速通信ネットワークで利用される「光コネクター」、サー・ボ・やセンサー、アクチュエーターなど、FA機器の接続に利用されることが多い「丸形コネクター」、産業機械からパソコンにいたるまで幅広い用途で利用される「角形コネクター」と、「その他のコネクター」に分類している。

一方、電子情報技術産業協会「EITA」が発表した電子部品グローバル出荷統計で見ると、日系メーカーによるコネクターの国内外出荷は好調だ。14年1月の累計は前年同期比12%増の446億円。また、13年4月から14年1月の累計は前年同期比16%増の42億円。13年度は4月から10ヶ月連続で前年比を達成している。スマートフォンやタブレット端末といったモバイル端末の普及、車載各種部品のエレクトロニクス化などによるコネクターの需要増が市場を牽引している。

13年生産量は前年比302億6376万個で、3月にかけても同様の傾向になるだろう。過去10年の推移を見ていって、生産量は10年が3億65397万個、3月が301億411万個となつており、コネクターメーカー各社は市場に製品を安定的に供給しているといえる。

量産報値は前月比0.3%増の20億578億個。例年、2月、3月は前月比で微増あるいは増加といふ傾向にあるため、14年3月についても同様の傾向になるだろう。

13年の生産量は前年比3.7%増の302億63980億円となつたが、生産額は前年比15.3%減の301億42068万個。その後、11年が3億65397万個、12年が344億2068万個、それが11年が374億2068万個、その後、12年が344億2068万個となつたが、生産量は10年が3億65397万個、3月が301億411万個となつており、コネクターメーカー各社は市場に製品を安定的に供給しているといえる。

www.iriso.co.jp/

高速伝送。

ITSの進歩で実現近づく完全自動化。
そこにもイリソのコネクタテクノロジー。

BtoB®として商標登録されたイリソのボード-to-ボードコネクタ。例えば高速伝送用インターフェース「V-by-One®HS」実装の可動タイプコネクタは、すでに今、国内外有力メーカーに採用されて世界中を走っています。一方のFFCコネクタは、数々のトータルコスト低減を実現してきた勝れたもの、これからもイリソは環境に優しくグローバルに発信し続けます。

比類なきイリソのテクノロジー。
BtoBコネクタのパイオニア。
実力と実績のFFCコネクタ。
柔軟にカスタムメードにも対応。

BtoB® TYPE FFC TYPE

10103 Series

V-by-One® 高速伝送に対応。
新開発の可動ソケット&プラグ。

0.5mmピッチ。

- 金属シェルによるEMC対策でノイズを防止。
- ソケット側はX-Y方向へ±0.5mm可動。
- 周波数帯域は600Mbps～3.75Gbpsと広範囲。
- インピーダンスマッチングは100Ω。

11500 Series

新開発の高速伝送システム。
ノイズに強いシールド付FFCコネクタ。
0.5mmピッチ、24極。NON-ZIFタイプ。
FFC挿入と同時にロックがかかる“抜け防止構造”。

- 100Ωのインピーダンスマッチングで高速伝送を実現。
- 仮保持端子はボタンを押しこむことで容易に解除。
- 基板への装着作業の効率をアップさせるエンボス樋包。
- 外形は、幅15.9mm 奥行き6.85mm 高さ3.4mm。

*V-by-One®HS: サンエクレクトロニクス社によって開発された高速伝送用インターフェース。
当社はV-by-One®HSにライセンス契約を締結しています。

IRISO 電子工業株式会社 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-13-8 TEL 045-478-3111(代表) FAX 045-478-3535 ●国内営業所:神奈川/大阪/茨城/岩手/名古屋 ●海外営業所:アメリカ/ドイツ/香港/シンガポール/マレーシア/タイ/フィリピン/上海/韓国/台湾/インド ●工場:茨城/上海/フィリピン/ベトナム